

- 問1

古墳時代の日本列島では、海外から高度な技術や文化を持つ人々が移り住み、社会の発展に大きな影響を与えました。高温で焼く硬い灰色の土器である「須恵器」の技術を日本に伝えた、朝鮮半島などから移住してきた人々を何と呼びますか。

(2018年 長崎県公立入試 類似)

1. 遣隋使

2. 防人

3. 渡来人

4. 地頭

問2

5世紀の古墳から出土する、甲冑（よろい・かぶと）を身にまとい、背中に矢を背負った武人の姿を模した土製品について、当時の社会状況を読み取った説明として最も適切なものはどれですか。

(2026年 群馬県公立入試 類似)

1. 弥生土器と呼ばれ、大陸から伝わった金属器の使用方法を儀礼的に示している

2. 人物埴輪と呼ばれ、当時の緊迫した東アジア情勢を反映した軍事文化を伝えている

3. 唐から伝来した仏教儀礼に基づき、寺院の門に配置される守護神を表している

4. 七支刀と呼ばれ、百済の王から贈られた最新の鉄製武器の威力を示している

問3

古墳時代に、大山古墳（仁徳天皇陵）のような巨大な前方後円墳が築造された歴史的な背景や目的として、最も適切な説明はどれですか。

(2023年 神奈川県公立入試 類似)

1. 海外からの侵略を監視し、防衛するための軍事的な物見櫓や要塞として機能させるため。

2. 大規模な稲作の普及により余った土地を、洪水から守るための避難場所として整備するため。

3. 大和政権（ヤマト王権）の王が、自らの強大な権威や動員できる労働力の大きさを各地の豪族に誇示するため。

4. 大陸から伝来した仏教の教えに基づき、故人を盛大に供養することで国家の安寧を祈願するため。

問4

古代の日本において、ヤマト政権が朝鮮半島諸国との外交や軍事活動を通じて、他勢力に対し優位に立つために最も獲得を重視した資源はどれか。

(2020年 鳥取県公立入試 類似)

1. 外交の儀礼に用いられる仏教の経典

2. 貨幣の原料となる金や銀

3. 武器や農具の材料となる鉄

4. 権威を象徴するための金印や銅鏡

問5

4世紀から7世紀頃にかけて、朝鮮半島や中国大陸から日本列島へ移住し、鉄器の製作、須恵器の生産、さらには漢字や仏教などの高度な技術や文化を伝えた人々を何と呼ぶか、最も適切なものを選びなさい。

(2017年 徳島県公立入試 類似)

1. 渡来人

2. 弥生人

3. 防人

4. 遣唐使

問6

5世紀の日本において、埼玉県稲荷山古墳や熊本県江田船山古墳から出土した鉄剣・鉄刀に銘文として刻まれていた大王の名として正しいものを、次の選択肢の中から1つ選びなさい。

(2025年 宮崎県公立入試 類似)

1. 中大兄皇子

2. 聖徳太子

3. ワカタケル大王

4. 卑弥呼

問7

古墳時代に普及した「須恵器」の製法方法や特徴に関する説明として、最も適切なものはどれですか。

(2018年 長崎県公立入試 類似)

1. 野焼きによって比較的低い温度で焼かれ、表面が赤褐色をしている。

2. 表面に複雑な縄の模様がつけられ、主に祭祀用の道具として用いられた。

3. 密閉された穴窯などを用いて高温で焼かれ、硬く灰色をしている。

4. 木版印刷の技術を応用して表面に色が塗られ、庶民の間に流行した。

問8

鳥取県内最大級の北山古墳が築造された400年頃（5世紀）の、日本と中国の関係について述べた記述として正しいものはどれですか。

(2017年 鳥取県公立入試 類似)

1. 邪馬台国の女王である卑弥呼が魏の皇帝に使節を送り、親魏倭王の称号とともに金印や銅鏡を授かった。

2. 倭王たちが中国の王朝へ使節を送り、自らの地位を正式に認めさせることで、国内での権威や統治の正当性を高めようとした。

3. 平城京を中心とした律令政治が行き詰まったため、中国との公的な外交を断絶し、地方独自の勢力が古墳を築いた。

4. 小野妹子が遣隋使として中国へ派遣され、中国の皇帝と対等な外交関係を結ぶことで、東アジアにおける独立性を保とうとした。

問9

日本の関東地方、現在の埼玉県に位置する前方後円墳からは、115文字の銘文が刻まれた金錯銘鉄剣（きんさくめいてっけん）が出土しています。この鉄剣に記された「ワカタケル大王」という名は、当時のヤマト政権の首長を指すとされています。この鉄剣が出土した古墳の名称として正しいものを選んでください。

(2016年 三重県公立入試 類似)

1. 稲荷山古墳

2. 箸墓古墳

3. 江田船山古墳

4. 大仙陵古墳

問10

古墳時代の文化において、古墳の頂上や周囲を囲むように並べられた、円筒の形や人間、家などの形を模した土製の焼き物を何といいますか。

(2024年 三重県公立入試 類似)

1. 土偶

2. 銅鐸

3. 埴輪

4. 須恵器

問11

3世紀後半から6世紀にかけて、日本各地の有力な豪族の墓として築かれた古墳のうち、上空から見ると円形と方形（四角形）を組み合わせた鍵穴のような形をしている、日本独自の形式を何と呼びますか。

(2018年 大分県公立入試 類似)

1. 装飾古墳

2. 前方後円墳

3. 方墳

4. 円墳

問12

古墳時代の中期ごろ、朝鮮半島から伝えられた技術によってつくられるようになった、高温の窯で焼かれた硬質の灰色の土器を何といいますか。

(2017年 千葉県公立入試 類似)

1. 縄文土器

2. 弥生土器

3. 須恵器

4. 土師器

問13

日本の古墳時代にあたる4世紀から6世紀ごろ、朝鮮半島では3つの国家が互いに勢力を競い合っていました。この3つの国家の組み合わせとして正しいものを次から選びなさい。

(2024年 滋賀県公立入試 類似)

1. 渤海・高麗・新羅

2. 高句麗・百済・新羅

3. 隋・唐・宋

4. 魏・呉・蜀

問14

古墳時代から奈良時代にかけて、朝鮮半島や中国大陸から日本列島へ移り住み、当時の日本に新しい文化や技術を伝えた人々を何と呼びますか。

(2023年 岡山県公立入試 類似)

1. 渡来人

2. 南蛮人

3. 防人

4. 遣唐使

問15

古墳時代、各地の有力者が巨大な墓を造りました。その中でも、上から見ると鍵穴のような独特の形（一方が四角形で、もう一方が円形）をした、日本独自の形式の古墳を何と呼びますか。

(2021年 鹿児島県公立入試 類似)

1. 装飾古墳

2. 方墳

3. 前方後円墳

4. 円墳